

平成15年度SGST第2回幹事会 議事録

日時：平成15年6月18日(水) 10:30~12:00

場所：大同工業大学 白水校舎 会議室

出席者：事口代表(大同工大)、酒造(大同工大)、水澤(大同工大)、安藤(瀧上)、中川(瀧上)、加藤(瀧上)

6名(敬称略)

幹事会議事内容

6/27の25周年記念シンポジウムは旧幹事が実行委員を担当することになっている。

シンポジウム当日は、時間的な都合により幹事会を開催できないため、第2回幹事会は事口代表、酒造(大同工大)、水澤(大同工大)と幹事会社だけで行い平成15年度のSGST活動計画について事前に会議をした。

1)平成15年度のSGST活動計画について

- ・定期研究会の年間予定を計画し、研究会幹事に連絡する。
- ・前年度からの検討事項であった現場見学会を8月に開催する。
- ・平成15年度SGST研究委員会のテーマ選定は、アンケートを作成し、募集する。

2)H15年度定期研究会について

- ・開催場所：基本的には大同工業大学 滝春校舎とする。
- ・第2回定期研究会は25周年記念シンポジウム(6/27)を研究会とする。
- ・第3回以降の予定は8,10,12,2月の第4週火曜日とする。(12月は休日の為、日時変更)
- ・研究会幹事の担当分担(案)は下記の通り。

8/26(火)：清水(信州大)⇒6月18日に事口代表より依頼し、了承いただいた。

10/28(火)：忠(豊田高専)

12/2 or 9：水澤(大同工大)

2/24(火)：小塩(名古屋大)

3)SGST現場見学会の開催

平成15年度の活動として、『東海地方のアーチ橋巡り(MAGロード)見学会』を開催する。

日時：平成15年8月5日(火)

場所：飛騨川橋、木曾川橋、土岐川橋の3現場(いずれも所在地は岐阜県)

交通手段：バスを事務局にてチャーターし、移動する

会費：3,000円程度(不足分はSGSTの予算から支出する)

定員：50名を予定

集合場所：名古屋駅付近

※当日のスケジュール等は事務局にて調整し、後日正式に案内する。

4)前年度研究委員会の現状報告

- ①「撤去を伴わない橋梁の改良設計にかかわる検討」(山田委員長)⇒10月頃完了の見込み
- ②「移設再利用鋼トラス橋の性能評価の事例研究」(梶川委員長)⇒活動完了、活動報告の準備段階
- ③「中部地区の歴史的な橋梁マップおよび紹介誌の作成」(久保委員長)
⇒研究会活動が中々進まなく活動中止となり、活動予算50万円が6/6に返納された。

5) 平成15年度研究委員会の進め方について

- ・ H15年度の研究委員会テーマは、次回の幹事会以降で引継いで募集方法等を検討する。
- ・ 委員会の立ち上げ(テーマ選定, 委員長の選出)は容易に進まない面もあるので、委員会のあり方について下記内容を今後検討する。
 - ①テーマを一つに絞り、内容の濃いものにする。
 - ②SGSTは構造物について研究するグループであるので、コンクリート・鋼・複合構造についてテーマを選定してみる。
 - ③会員の皆様から委員長の選出を行うなどをして、活動の活性化を図る。
 - ④若手研究者への研究奨励金的な方法を取り、活動の活性化を図る。
 - ⑤研究委員会活動費などの規約改定を検討して柔軟な対応がとれるようにする。

6) その他

- ・ 会員の把握, 会費の徴収区分, 特別会員の位置付け等の不明確な点を検討しなければならない。
- ・ 活動報告書の送付、年会費の請求の際に会員数の把握、会員区分の再確認をする。
- ・ 現段階では会員名簿の整理をしており、7月上旬に年会費の請求書を送付する予定。
- ・ SGST活動をより理解していただき活性化を図る為に、名古屋高速道路公社、日本道路公団、名古屋市、愛知県などに挨拶、活動のアナウンスをする予定。

以上//